

左京「人づくり」ネットワーク

区民「ふれあいまつり」版

発行：平成24年9月
左京区「人づくり」
ネットワーク実行委員会
TEL 251-0470

今年も、左京区「人づくり」ネットワーク実行委員会は、7月29日に開催された「左京区民ふれあいまつり2012」に参加しました。

真夏の暑い日でしたが、節電のクールスポットとしての「みやこめっせ」は、熱気こそありましたがクールな中でペンシルバルーンアートやフェルト教室で楽しい一日を過ごしました。最後までご奉仕いただきました左京区「人づくり」の皆様方にお礼申し上げます。ありがとうございました。スタッフの感想も交えて、当日の様子を紹介します。



門川市長の訪問に、こやかに応える「人づくり」のメンバー



ペンシルバルーンを取組に合わせて「子どもと共に育む京都市民憲章」の啓発活動をする、左京区「人づくり」ネットワーク実行委員の皆さん



今年も「左京区民ふれあいまつり」は多くの親子の来場者でにぎわい、人づくり実行委員会ではペンシルバルーンと共に「子どもと共に育む京都市民憲章」のチラシ類を配布。啓発活動を行うことができました。

「人づくり」パネルは、漫画で親しみやすいのですが、遠くからは見えにくいので、憲章の文章を大きく書いて貼ってみたりするのも、よいかかな?と思いましたが、

秋に取り組む「左京子どもふれあいかーニバル」の宣伝もブースでできたら、左京区の各種団体様にも、よりいっそう認知していただけたかな?とも思いました。(I・M)

今回は、子どもが保育園の時だと思えますから、十数年ぶりの区民まつりになります。

今回は、主催者側の立場で参加し、改めて区民まつりの良さを感じさせていただきました。

幼児から高齢者までの様々な団体が、この地域で助け合い、ネットワークをつくって支え合っていることがよくわかり、感銘もしました。

もっと多くの人に参加してほしいと思います。

コーナーでは、ペンシルバルーンアートの準備程度しか役立つことができませんでしたが、簡単な犬を作れるようになり、それなりに楽しませていただきました。

次回は、もう少し難度の高いものに挑戦したいです。(M・N)



スタッフの指導で、羊の原毛を使ったコースター作りに取り組む子どもたち



スタッフのペンシルバルーンに興味津々の子どもたち

今回初めて参加しましたが、スタッフで「あくだ こうだ」と言い合いながら、バルーンを膨らませたり、動物を作ったり、準備から楽しく取り組みました。

中には、親子連れだけでなく、祖父母と来場している子どもたちもあり、家族で「まつり」を楽しんでいる様子でした。

みやこめっせの他の会場で、プロがアートバルーンをやっていたようで、同じような技要りの作品を「作って」とせがまれて、汗をかきながら挑戦したり、来場者とのふれあいを楽しんだりでした。

子どもたちをバルーンで惹きつけて、大人へは「京都市民憲章をもっと意識してもらおう!」という趣旨での展開。

自分もスタッフとして楽しみながら、子どもたちを健やかに育む家庭と地域への一助になればとの思いで、充実感もアップ。

また参加したいと思います。(K・N)



ペンシルバルーンをふくらませるのに大忙しのスタッフ



吹奏楽の演奏を披露する、修学院第二小学校「ドリームバンド」の皆さん

「左京区『人づくり』ネットワーク実行委員の一員として、「左京区民ふれあいまつり」に参加しました。

主に、羊の原毛によるフェルト作成を担当しましたが、初めての体験でしたので、先ずは、自分でやってみたのですが、これが案外難しいものでした。

ただ、不思議と（不出来なものでも）手づくり品は、愛着がわくものです。

この感動を、子どもたちに伝えたいと思います、この道何十年？の生瀬さんに、あれこれアドバイスを受けました。

まず、様々な色の原毛を詰め合わせたナイロン袋を選んでもらい、綿菓子のような原毛を千切っては敷くを繰り返し、何層か敷き詰めて、あとは洗剤を染み込ませ、擦るだけです。

こうすると、羊の原毛は縮み、とてもしっかりしたものができるとは思いません。

作業自体は簡単なのですが、頭でイメージしているものをカタチにするのは、難しいのです。

子ども達は30人くらい参加してくれましたでしょうか。

皆、それぞれ真剣な目つきでハートマークや大文字などのデザインに挑戦。

大抵は、女の子のグループ参加でしたが、お母さんと一緒に男の子もいました。

テレビゲームや漫画が、子ども達の遊びとして定着している感がありますが、子どもたちは、本来こういう五感で楽しめる遊びがしたいものですね。

参加してくれた子ども達の目を見て、つくづく実感しました。（Y・H）



スタッフの説明に、熱心に耳を傾けるフェルト教室の参加者



作業手順の説明で大忙しのスタッフ



盆踊りで会場を盛り上げる来場者の方々



作業にもなれ、思い思いのフェルト作りを楽しむ子どもたち